豊川霞（牛川地区）　地元説明会議事録（1/3）

会議開催日　令和８年８月５日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
霞堤地区浸水被害軽減対策フォローアップについて				
1	堤防完成後の内水が溜まるのは沖野川の最下流部、北西部の２か所で収まるのか。シミュレーションの結果について説明がほしい。また、樋門の排水能力から浸水して樋門を開ける時間がどのぐらいなのか。	シミュレーションについては、後日説明させていただきたい。シミュレーションでは、内水は２カ所程度発生する結果となっている。外水は現在進めている堤防整備で基本的に防ぐ方針であり、内水はシミュレーション結果を踏まえて対策を検討する。	国	
2	内水処理における沖野川の改修はどうなっているのか。	沖野川における堤防は市の対応となる。今の堤防事業では、沖野川のメニューは合流地点に樋管を作ることのみである。	国	【補足】（市） 沖野川について、シミュレーションの結果を踏まえて内水処理の検討を行います。
3	現状に比べて堤防整備により浸水継続時間が長くなることはないのか。シミュレーションで細かく精査、検討してほしい。	昨年度のシミュレーションで 22 時間という話をしているが、その根拠についてはまた整理して示させていただく。雨の降り方によって、令和５年のように下流域に集中的に降った洪水もあれば、平成 23 年のように上流側で降って外水氾濫が発生した洪水もある。そのような降雨形態もシミュレーション結果と併せて整理し、引き続き説明させていただく。	国	
4	沖野地区については完成提ということでよいか。	令和 16 年までに完成提を施工する予定である。	国	
5	内水対策についての項目が挙げられていない。国、県、市で跨っており業務分担が異なると認識しているが、内水対策について地元説明会、作業部会で答えられないのか。	内水の問題については現状と整備完了後のシミュレーションを実施の上、市と協議します。今後進める中でご協力いただければと思います。。	国	
6	小堤整備について、平成 23 年と昭和 44 年の比較をしているが、令和５年の方が被害は大きいのに、なぜ平成 23 年を対象としているのか。	平成 23 年と令和５年では降雨形態が異なり、平成 23 年では上流側で降った雨が川に流れており、令和５年では下流でゲリラ豪雨が発生している。外水対策として、より本川の水位が上昇した平成 23 年の洪水を防げる規模の小堤整備を進めている。	国	
7	樋管は自然排水であるとの説明だが、なぜポンプ等で強制的に排出することをしないのか。	ポンプについての検討はしているが、シミュレーション結果から自然流下で排水可能と考えている。過去にポンプの話題を大きく取り上げたこともない。	国	

豊川霞（牛川地区）　地元説明会議事録（2/3）

会議開催日　令和８年８月５日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
8	令和５年のシミュレーション結果で堤内側に浸水が残ることを示していた結果があるのに、なぜ対応を検討しないのか。	令和５年はゲリラ豪雨が下流側で発生しており、浸水被害は豊川の外水というよりもこの地域に降った雨が要因であると考えられる。市と調整し、まずは外水を止めることを優先し、堤防整備を進めていることをご理解いただきたい。	国	
9	堤防越しに一時的な排水ポンプを取り付ける検討も完成までの間に検討していただきたい。内水で困った際に一時的に必要なところまで水位を下げることも検討項目に入れていただきたい。	排水ポンプ車の活用も含めて、検討させていただく。	国	
10	樋管鳥瞰図で河道内に駐車している絵だが、駐車場を設置する予定なのか。	河道内に駐車場を整備する予定はない。	国	
11	樋管について、朝倉川は上流から下流にかけて流路が直角に曲がっているが、水の流れに影響はないのか。	基本的には樋管前に大きな桝を入れ、深さを変えながら調節を行う。まだ設計途中であり、イメージで書いている部分はあるが、対応できる形となる。	国	
12	浸水センサは、なぜ創造大学に設置されているのか。	センサの位置、高さについての規定はないため、設置場所の変更についても検討は可能ですので様子を見て考えていきたい。	市	
13	創造大学の学生の通行時の安全確保のために設置されたと思う。水路の逆流によって、創造大学周辺が地区で一番初めに浸水することが多い。ワンコインセンサなので、地区内の冠水状況の把握のために設置数を増やすことも検討いただきたい。	ご意見はお伺いした。		
14	作業用道路として築堤が現在行われているが、より高くなるのか。	現在は工事用道路（1m 半程度の土盛）としての築堤であり、完成堤ではないため最終的には今より高くなる。まずは、工事用道路として、現地盤より少し高さを上げたものを整備している。	国	
15	霞がなくなると豊川の水位は上がり、吉田城に水が行くのではないか。詳細な説明をいただきたい。	豊川全体でダム、河道の整備を行い、流域全体で受け持つ。上流からの流量も含め計算しながら事業を進めるため、今より悪くなることはないことをご理解いただきたい。	国	

豊川霞（牛川地区）　地元説明会議事録（3/3）

会議開催日　令和８年８月５日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
16	支川対策については沖野川のことを話しているのか。	朝倉川のことであり沖野川ではない。朝倉川に樋管を作るという意味で、支川対策と樋管工事用道路の工程を入れている。	国	
17	グリーンインフラの取り組みの説明をしてほしい。	豊川で取り組んでいる事項としては、伐採後の樹木の無償配布を実施しており、グリーンインフラの取り組みの１つとして紹介させていただいた。	国	
18	その取り組みは悪くないが、国交省のガイドラインにおけるグリーンインフラとズレがあるのではないか。	足りないという意識はある。現時点で牛川地区でのグリーンインフラの取り組みはないので、対象にできるものがあれば検討する。	国	【補足】 グリーンインフラとは社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自 然環境が有する多様な機能（生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑 制等）を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるものであり、牛川地区においては城と河川が調和した良好な景観を損なわないよう築堤整備を進めて行きます。
浸水被害軽減対策計画の見直しについて（浸水被害に対する被災者支援制度）				
19	農業者から水害のたびに保険申請をしても金額が少ない。霞堤内の住民に対する配慮として被害のリスクへの保険や手当を実施している事例はあるのか。	関係機関と相談をしたが、結論として霞に特化した支援制度はないため、現行制度にて使えそうな制度の一覧を整理している。	国	
20	災害見舞金などの制度はあるが、金額的に少ない。霞堤に特化した配慮の事例があれば教えていただきたい。	ご意見はお伺いした。	国	
その他				
21	線状降水帯に豊川全体が覆われてしまうような最悪の事態を想定したシミュレーションを実施することは可能か。	降雨範囲の設定は難しいが、河川整備計画では昭和 44 年洪水を対象としている。一方で、令和 5 年のように下流側へ集中的に降雨した事例もあるため、条件を調整しながら検討を進める。	国	
22	下流域で降った事例と同じ雨量が全域に降った場合はどうなるのかを参考にすることはできないのか。	ご意見はお伺いした。	国	【補足】 参考ですが事務所 HP に想定最大規模の降雨による浸水想定区域図が掲載されています。内水は考慮されていませんが、豊川流域で 1 日総雨量 604mm が降った際に一定の条件で破堤させたときの浸水範囲、浸水深をシミュレーションにより予測したものです。